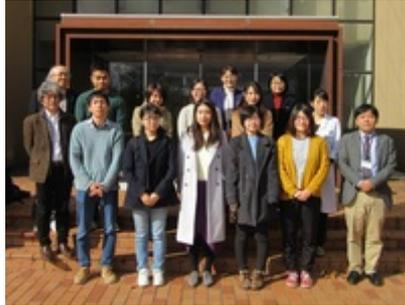


## 里親学生支援事業としての9回目の卒業生を送り出しました

2020年3月16日

令和2年3月10日(火)に令和元年度滋賀医科大学卒業式が挙行政され、里親学生支援事業としては、9回目の卒業生(医学科10名、看護学科4名)を送り出しました。

学生達が、それぞれの新しく進む道で活躍し、また、今度は自分たちが里親となり、後輩たちを支援してくれればと期待しています。



## 【開催延期】プチ里親の方からフォーラム開催のお知らせ(4/12)

2020年3月16日

4/12(日)に予定しておりましたフォーラムにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を延期することとなりました。

なお、日程につきましては、決定次第お知らせします。

\*\*\*\*\*

## 「彦根市の地域医療を守る会」第7回 フォーラム

日 時: 令和2年4月12日(日) 13:30~15:30(終了予定)

場 所: 大学サテライトプラザ彦根

(彦根市大東町1-7 アル・プラザ彦根6階)

第1部 講演:「命の現場をみつめて」

講師: 川島 実 氏

第2部 みんなで“人生会議”「川島実先生とバトルをしよう~Fight it out!!~」

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒



## 【開催延期のお知らせ】春の宿泊研修(in甲賀市・湖南市方面)

2020年3月4日

3月17日(火)～18日(水)で予定しておりました春の宿泊研修につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、開催を延期することとなりました。

なお、日程につきましては、8月末頃を予定しておりますので、決定次第お知らせします。

\*\*\*\*\*

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

### ●3月17日(火)1日目

滋賀医科大学(出発)<9:00>

↓

信楽焼窯元と登り窯(見学)<9:30～11:50>

↓

(昼食)<12:00～12:50>

↓

甲賀市立信楽中央病院(説明・研修)<13:00～14:00>

↓

紫香楽病院(説明・研修)<14:15～15:15>

↓

こうせい駅前診療所(説明・研修)<15:45～16:45>

↓

水口センチュリーホテル(交流会・宿泊) <17:15頃到着>

17:40～18:00 交流会<第1部>講演/意見交換等

・各市長からのご挨拶

・「地域における甲賀病院の役割」

公立甲賀病院 地域医療連携部長 渋谷和之 氏

地域医療連携部副部長 西村みゆき 氏

・「地域における信楽中央病院の役割」

甲賀市立信楽中央病院 医員 西田早矢 氏

19:00～21:00 交流会<第2部>学生報告会/懇談/会食

21:00～ 学生交流会

### ●3月18日(水)2日目

水口センチュリーホテル(出発)<9:00>

↓

甲賀市くすり学習館(見学)<9:40～11:00>

↓

油日神社(見学)<11:10~11:40>



(昼食)<11:50~12:40>



甲賀流忍術屋敷(見学)<13:10~14:00>



水口病院(説明・見学)<14:30~15:30>



公立甲賀病院(説明・見学)<15:45~17:00>



滋賀医科大学(解散)<17:40頃>

## 令和元年度 FD(教育技能)研修会・意見交換会を開催しました

2020年1月14日

1月9日(木)アーバンホテル南草津において「地域里親学生支援」の事業の一環である「FD研修会・意見交換会」開催しました。

今回の研修会では、滋賀医科大学里親学生支援室長 埴田和史准教授から「里親学生支援のあゆみ」と題して、里親学生支援事業10年を経て、滋賀医科大学で何が変わってきたか講演いただきました。

引き続き和やかな雰囲気の中、里子も交え、意見交換や懇談が行われました。



お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

※滋賀医科大学地域里親学生支援事業として、里親(県内で活躍されている医療従事者)・プチ里親(地域の皆様)・里子(この制度の登録学生)が交流し、医療人としての心構え、地域医療の現状などを伝える場として毎年1回開催しています。

## 新年のご挨拶

2020年1月1日

あけましておめでとうございます

旧年中は当室の活動に対し一方ならぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして、宿泊研修をはじめ、様々な事業を認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と連携して実施することができ、学生たちからも好評の声が寄せられています。

本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

令和2年 元旦



《今後の予定》

☆ 里親・プチ里親対象FD(教育技能)研修会・意見交換会

1月9日(木)18時30分～ アーバンホテル南草津

☆ 春の宿泊研修 甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ

3月17日(火)～18日(水)

里親・プチ里親の皆様や地域の皆様との交流会を1日目の夕方より開催いたします。是非ご参加ください。

詳細は後日ご案内いたします。



参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

## 記

日 時: 令和2年1月23日(木) 17:30～(1時間程度)

会 場: 滋賀医科大学 基礎研究棟 多目的室1・2

講 師: 滋賀医科大学医学部附属病院 母子診療科 医局(専攻医)

大橋 瑞紀 先生

略 歴: 徳島大学薬学部卒業後、修士を中退し、滋賀医大へ編入学。

滋賀医大卒業後、公立甲賀病院にて、2年間初期研修。

卒後3年目より、滋賀医大産婦人科入局。滋賀医大アジア疫学研究センターの

リーディングプログラム博士課程に入学。2019年1月出産。現在に至る。

テーマ: 『産婦人科医としての臨床・研究・出産育児

～環境が変わってもやりたいことを続けていくために～』

参加費: 無料

対 象: 医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

少しですが、お茶菓子を用意しておりますので、お気軽にご参加ください！

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上

メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

滋賀県医師キャリアサポートセンターの詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口: 滋賀医科大学 クオリティマネジメント課

住所: 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL: 077-548-3656

E-Mail: [ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当: 北川・奥村

## 【お知らせ】春の宿泊研修(in甲賀市・湖南市方面)を実施します

2019年11月18日

里親学生支援室では、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で、滋賀県の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を年に2回実施しています。

今年度の春の宿泊研修は、甲賀市・湖南市方面で3月17日(火)～18日(水)に実施します。

今回は、滋賀県の甲賀保健医療圏の中核病院である公立甲賀病院、信楽中央病院を中心に、甲賀・湖南地域の歴史や文化を感じることのできる場所への訪問を予定しています。

また、この地域には、精神や心療内科に特化されている病院や重度の障害児(者)医療に特化されている病院などもあり、他の医療施設についても、訪問できればと考えています。

また一日目夜の交流会では、地域で働く先生方や地域の方々から直接お話を聞く機会を設けています。

この研修は、自治医科大学等の他大学や県内の看護専門学校等の滋賀県の医療に興味のある学生達にも参加を呼びかけております。滋賀県に関心のある医学生・看護学生なら、滋賀医科大学の学生に限らず参加できますので、地域医療などに興味を持っている先輩・後輩や友人などを誘ってみてください。

参加費用は、2000円です。

※なお、参加申込につきましては、2020年1月頃に再度案内致します。

## 【ご案内】FD(教育技能)研修会・意見交換会のご案内

2019年11月15日

「里親」・「プチ里親」にご登録いただいているみなさま方へ

滋賀県に勤務されている 医師・看護師・保健師・助産師のみなさま方へ

里親学生支援室では、下記のとおり「里親学生支援事業」の一環としてFD(教育技能)研修会・意見交換会を開催いたします。

本会は、日頃お世話になっている皆さまと里親学生支援室員や里親事業登録学生との意見交換や交流の場としております。

寒さ厳しい頃とは存じますが、事業に対するご意見等を賜りたく、お時間のご都合がございましたら、是非ともご出席くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和2年1月9日(木) 午後6時30分から1時間30分程度

会場：アーバンホテル南草津 2階 コミュニティーホール

草津市南草津1丁目1番地5

TEL.077-561-0606 (JR南草津駅西口 徒歩1分)

講演：滋賀医科大学 社会医学講座(衛生学部門)准教授／

里親学生支援室 室長 埜田 和史

テーマ「里親学生支事業10年を経て、滋賀医大で何が変わってきたか」(仮題)

その他：当日は学生も参加します。講演の後、軽食をとりながらの交流を予定していません。

お申込みは、12月13日(金)までに 里親学生支援室にご連絡ください。

## 【12/1開催】第15回「卒業後の自分を考える連続自主講座」『第5回世

2019年11月14日

### 界に羽ばたく医師シリーズ』を開催します！

台風の影響により延期になった下記講演会が、12月1日(日)に開催することが決まりました。

改めてお申し込み下さるようお願い致します。

2019年12月1日(日) 滋賀医科大学構内にて、島田悠一先生(Columbia University Medical Center Instructor)をお招きし、特別講演を行います。

米国医学の現状や日米の研修制度の違い、医師の働き方についてご講演いただき、さらに英語圏出身の模擬患者さんのご協力のもと、学生対象に英語での医療面接実習を行っていただく予定です。

ふるってご参加ください。学外の医学生・医師の皆様のご参加も大歓迎です。

※詳細はこちら⇒

#### 第5回「世界に羽ばたく医師」シリーズ

【第15回卒業後の自分を考える連続自主講座】

日時 2019年12月01日(日) 13時00分～

場所 滋賀医科大学 スキルズラボ棟 L3

講師 島田悠一先生(コロンビア大学医学部循環器内科)

主催 滋賀医科大学 IR室

共催 NPO法人滋賀医療人育成協力機構、里親学生支援室

臨床留学のバイブル的存在である『海外医学留学のすべて』(日本医

事新報社)など多数出版されている島田悠一先生をお招きし、特別講

演を行います。

米国医学の現状や日米の研修制度の違い、医師の働き方について

ご講演いただき、さらに英語圏出身の模擬患者さんのご協力のもと、

学生対象に英語での医療面接実習を行なっていただく予定となっております。

学生、医師、医療関係者の皆様、ふるってご参加ください。

(13時～講演会、14時～17時 医療面接実習の予定です。

いずれか片方のみのご参加でも大歓迎です)



島田悠一先生 御略歴

2007年東京大学医学部卒。国保旭中央病院、東大病院で

の初期研修を経て、ベス・イスラエル病院にて内科研修医、

主任研修医として勤務。2012年よりハーバード大プリガム・

アンド・ウィメンズ病院循環器内科専門研修医。臨床研修の

傍ら2014年にジョンズ・ホプキンス大より公衆衛生学修士号

を取得。2015年よりハーバード大学医学部付属マサチュー

セッツ総合病院にて循環器内科指導医。臨床研究でも多数

の論文・著書あり。臨床留学のバイブルである『海外医学留

学のすべて』(米国医学留学のすべて)『日本医事新報社』

等の著者でもある。

参加ご希望の方は、e-mailにて、

1) お名前

2) ご所属(学生の場合は学年も)

3) 参加希望内容(講演の医療面接実習の両方)

4) 懇親会参加ご希望の有無(実費・講演後瀬田駅周辺で開催予定)

を下記までご連絡ください。

(申し訳ございませんが11月28日(木)21時締め切りとさせていただきます)

参加申し込み・お問い合わせ:

email: ytsujj@belle.shiga-med.ac.jp

滋賀医科大学 IR室 (担当 辻)

## 学園祭で地域「里親」ブースを設けました

2019年10月31日

10月26日(土)～27日(日)に滋賀医科大学の学園祭(第45回若鮎祭)が開催され、里親学生支援室も、昨年と同様に福利棟の一角で、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同ブースを設けました。

ブースでは、宿泊研修や卒業後の自分を考える連続自主講座を中心とした活動ポスターの展示を行いました。また、機構広報誌「めでる」等の発行物を配布し、里親学生支援事業の取り組みを広く知っていただけるようPRに努めました。

今年度より展示会場(福利棟1階)では、ステージが設置され、アカペラサークルなど音楽を聴きながら、展示を楽しめるようになり、たくさんの方にご来場いただきました。

両日とも気持ちの良い秋晴れの中開催することができ、ブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。



## 【ご案内】学園祭での地域「里親」ブース設置について

2019年10月15日

里親学生支援室では、「学園祭(若鮎祭)期間中に『地域「里親」ブース』を認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と共同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただける写真等の展示を行います。

お時間のご都合がございましたら、是非お越しください。

⇒2019年度学祭案内チラシはこちら

ブース開設時間

日時：2019年10月26日(土)10:00～16:00

10月27日(日)10:00～16:00

場所：滋賀医科大学 福利棟1F



## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(11月16日開催)

2019年10月4日

「彦根市の地域医療を守る会」第59回 勉強会

日時：令和元年11月16日(土)10:00～11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：その薬、必要ですか？

内 容： その薬は本当に必要ですか？

誰の為に何の目的で飲んでいますか？

今回も薬局薬剤師が薬の意味や必要性をお伝え。

講 師： 彦根薬剤師会 池田 富美子 氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第59回勉強会

♡その薬、必要ですか？

内容 その薬は本当に必要ですか？  
誰の為に何の目的で飲んでいますか？  
今回も薬局薬剤師が薬の意味や必要性をお伝え。

講師 彦根薬剤師会 池田 富美子氏

記

1 日 時 11月 16日(土) 10:00~11:30

2 場 所 彦根市立病院 医療情報センター  
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)

3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使用します。)  
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

6月の守る会のおふたりのお坊様のお話大成功。嬉しいお話に感銘しました。  
7月には長岡京市でブラックジャック佐々木淳先生のご講演拝聴。食の重要性への進化系の説得力ある現状のお話に学びの必要性を強く感じました。  
以前から米原市の行政の方々で地域医療の学びにお越しでした。今回米原市で「ケアエス」の映画の上映会をされることにご協力できうれいす。米原市の行動力素晴らしいですね、さすがです。守る会は数回連続上映会大成功でした。  
ばばかすこ議長就任パーティーに彦根市の地域医療を守る会の代表として出席。日頃から守る会への応援くださる方々ともお話もさせていただきました。またブラックジャック佐々木淳先生のピノコちゃんでお祝いの龍笛演奏をさせていただきます。  
大阪からボンソツカフェに地域医療の学びで見学研修にお越しで大満足されました。つながりあって素敵ですね。学びって素晴らしいですね。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

年月日... (縦書き)

## 里親学生支援室だよりNO. 23を発行しました！

2019年9月19日

「東近江市・日野町方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2019/8/19～20

[里親学生支援室だよりNO23.pdf](#)

「高島市方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2019/3/18～19

[里親学生支援室だよりNO22.pdf](#)

「長浜市・湖北方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2018/8/20～21

[里親学生支援室だよりNO21.pdf](#)

「近江八幡・沖島方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2018/3/14～15

[里親学生支援室だよりNO20.pdf](#)

「大津・湖南地域方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2017/8/22～23

[里親学生支援室だよりNO19.pdf](#)

「彦根市・米原市方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2017/3/23～24

[里親学生支援室だよりNO18.pdf](#)

「甲賀市・湖南市方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2016/8/24～25

[里親学生支援室だよりNO17.pdf](#)

「日野町・東近江市方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2016/3/24～25

[里親学生支援室だよりNO16.pdf](#)

「湖西地域方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2015/8/24～25

[里親学生支援室だよりNO15.pdf](#)

「長浜市方面での宿泊研修を実施しました！」開催日2015/3/18～19

[里親学生支援室だよりNO14.pdf](#)

## 「第8回 滋賀県女性医師交流会」のご案内

2019年9月17日

今年度は、「本音で語ろう！どこで、どんなキャリアを磨くか！」をテーマとし、病院長による働き方改革の取り組みなどをお話いただく予定です。ケーキを食べながらの会です。気軽にお話を聞きにきませんか？

多数のご参加をお待ちしております。

【主催】滋賀県女性医師ネットワーク会議

【日時】2019年11月30日（土）

【場所】ロイヤルオークホテル  
スパ&ガーデンズ 1階ライラック

【参加対象者】女性医師・男性医師、研修医、医学生、病院関係者 ほか

【パネリスト】

①国立大学法人 滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座（再生・修復医学部門）  
特任助教

大橋 夏子 先生／卒後11年 「～診療しつつ、研究しつつ、子育てしつつ～」

②独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院 外科

- 辰巳 征浩 先生／卒後4年 「～女性医師の中での男性医師の主張～」
- ③社会医療法人 誠光会 草津総合病院 病理診断科 部長  
竹村しづき 先生／卒後20年 「～病理医としてキャリアをみがく～」
- ④日本赤十字社 大津赤十字病院 外科  
松林 潤 先生／卒後12年 「～常勤夫妻の子育てあるある～」
- ⑤日本赤十字社 大津赤十字病院 第三外科部副部長  
洲崎 聡 先生／卒後約30年 「～気がつけば、30年外科医やっていました～」

【総合討論】

- ・女性医師の働きやすい環境や働き方改革に関する取組みについて
- ・研修プログラムやキャリア形成への取組みについて

【参加費】 無料

★託児無料（事前申込）

※本交流会は日本医師会生涯教育制度指定講習会に認定されております  
(CC1：医師のプロフェッショナルリズム 2.5単位)

【詳細】

第8回女性医師交流会リーフレット

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/doc/files/591.pdf>

【申込方法】 下記のURLにアクセスいただき、お申込み下さい。

[https://www.shiga-med.ac.jp/formmail/career/career\\_index.php](https://www.shiga-med.ac.jp/formmail/career/career_index.php)

【お問合せ先】 滋賀県医師キャリアサポートセンター

(滋賀医科大学 クオリティマネジメント課)

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL. 077-548-3656 FAX. 077-548-2522

[E-mail] [ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

## 第14回「卒業後の自分を考える連続自主講座」『第2回びわ湖家庭医

2019年9月17日

### 療フォーラム』を開催しました。

7月6日（土）滋賀医科大学構内において、日本プライマリ・ケア連合学会滋賀県支部と共催で開催されました。

当日は滋賀県内の指導医の先生を始め、専攻医や初期研修医の先生、医学生の皆様などを含めると、合計36名の参加がありました。

総合診療・家庭医療に関心がある皆様による研修交流の絶好の機会となり、充実した一時を過ごしていただきました。

※実施内容はこちら⇒[実施報告.pdf](#)

## 東近江市・日野町方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

2019年9月11日

8月19日(月)・20日(火)に、東近江市・日野町方面を訪問させていただいた夏の宿泊研修には、学生16名(滋賀医科大学医学科第1～6学年6名、看護学科第1～2学年9名、旭川医科大学医学科第5学年1名)が参加しました。

### 【1日目】

#### ・太郎坊・阿賀神社参拝

旧八日市市にある通称:太郎坊宮を訪問しました。太郎坊宮は標高350mの赤神山(太郎坊山)に建つ神社で、大昔から「神様の山」「天狗が住む山」「修験道修行の霊山」とされてきました。麓からは740段余りの階段が連なりますが、中型バスで中腹駐車場まで行き、本殿まで約260段の階段を登りきると蒲生野ののどかな田園風景が一面広がっていました。

また、本殿の前には東近江市指定天然記念物の「夫婦岩」があり、神様のお力によって押し開かれたと云われる大岩がそびえ立ち、この巨岩の間を通る時は心が引き締め、神秘的な空間を感じることができました。



#### ・近江日野商人ふるさと館（旧山中正吉邸）見学・昼食

日野町に残る商人の元本宅を訪れました。日野町役場の方の説明を受けながら、邸宅を見学しました。この邸宅は江戸時代末期に建てられたもので、土間の奥にはおくどさんが構えており、懐かしさを感じました。また、ステンドグラス・シャワー室完備の浴室や昔の電話機などがあり、この時代の商人の暮らしぶりを感じることができました。

また、昼食は地元のご婦人たちが地産地消・全て手作りにこだわった日野の伝統料理を、庭園に面した客間で、総漆の祝い膳でいただきました。休館日にもかかわらず、ご対応いただき、ありがとうございました。



#### ・日野記念病院にて研修

午後からの最初の研修先として、日野記念病院を訪問しました。日野記念病院は日野町では唯一の病院で、医療法人社団昂会の湖東記念病院、能登川病院のそれぞれの病院が持つ特色を共有化し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに医療を通して貢献されています。

研修に際し、仲院長から病院の概要や特色についてお話しいただいた後、本学医学科卒業生の安岡公美子先生よりご自身の聴覚障害のことも踏まえ自己紹介していただき、耳鼻咽喉科の専門医として地域医療に貢献されている喜びをお話いただきました。また、西山看護部長より看護業務についてお話しいただきました。その後、仲院長の案内で施設の見学をさせていただきました。



#### ・東近江総合医療センターにて研修

「滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点」として位置づけられている国立病院機構東近江総合医療センターを訪問しました。東近江総合医療センターは東近江圏域で地域に根ざした中核病院として信頼される病院を目指し、「良い医療、信頼される医療、高度な医療」を掲げ、地域医療に貢献されています。

研修に際し、目片副院長から病院の概要や特色についてお話しいただきました。

その後、3班に分かれて産科や結核病床を有する特徴的な病棟、最新設備を備えた内視鏡室、リハビリテーション科の機能訓練室等を順番に案内していただき、病院内の施設見学を行うとともに、本学卒業生の中島医師や武久看護師等による指導のもと、スキルズラボに設置されている診療系シミュレーター、看護系シミュレーターを用いた院内体験をさせていただきました。

最後に行われた質疑応答では、退院カンファレンスにも開業医や地域ケアの方と一緒に情報を共有している等、具体的に地域医療連携の様子を説明していただきました。



#### ・交流会

夕方は、宿泊先のクレフィール湖東において交流会を開催しました。

交流会第1部では、小椋正清東近江市長からご挨拶いただきました。



続いて、永源寺診療所の花戸貴司所長より「三方よし研究会」についてご紹介をいただき、三方よし研究会の小椋猛副会長、NPO法人加楽の楠神渉理事長より、それぞれご講演いただきました。



交流会2部では、訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき学生と交流され、貴重な意見交換、懇談の場となりました。特に、今回訪問させていただいた東近江市、日野町において医療従事者としてご活躍中の諸先輩方から、立派な医療人となっていたきたいと参加した学生たちへエールをたくさん送っていただきました。また、東近江市からは、今秋収穫されたばかりの梨を学生たちに食べてほしいとお土産をいただきました。



## 【2日目】

### ・百済寺拝観

宿泊研修2日目は、宿泊先のクレフィール湖東を出発し、湖東三山の一つである百済寺を訪問しました。あいにくの雨でしたが、東近江市役所の方のガイドにより百済寺の歴史を感じることができました。



#### ・あいとうふくしモールの見学

引き続き東近江市役所の方に案内していただき、研修2日目の最初の研修先として東近江市の愛東地域にあるあいとうふくしモールを見学しました。あいとうふくしモールには、高齢者や知的障がい者等の働く「ならではの働き応援拠点施設」、介護を必要とする方々とその家族の暮らしを応援する「地域での安心して暮らしていくための応援拠点施設」、食を支える「福祉支援型農家レストラン」の3つの施設が併設されていました。拡大福祉モールとして全国から多くの見学者が訪れているようで、当日はあいとうふくしモール運営委員会事務局の方から事業開始に至る経緯や運営方法等について説明いただきました。



#### ・永源寺診療所にて研修

永源寺東部出張診療所を併設する道の駅奥永源寺溪流の里に立ち寄った後、日登美山荘で郷土料理をいただき、午後からは二つ目の研修施設である永源寺診療所を訪問しました。東部出張診療所と永源寺診療所を拠点として地域医療に尽力されている自治医科大学出身の花戸先生は、本事業の里親でもあり、全国から注目されている永源寺でのチーム医療について詳しく説明していただき、参加した学生たちから熱心に多くの質問がありました。

また、猛暑と悪天候により当日急に体調が悪くなってしまった学生を救急で診てくださり、速やかな対応に診療所ならではの温かさを感じることができました。花戸先生、外スタッフの皆様ありがとうございました。



#### ・近江温泉病院にて研修

宿泊研修最後の研修先として、近江温泉病院を訪問しました。近江温泉病院は、里親学生支援事業としては初めて訪問させていただく病院で、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、認知症病棟を有し、主に急性期治療を終えた患者さんに対し近隣の病院と連携して地域医療に貢献されています。

始めに小山院長から病院の概要や特色についてご説明いただき、その後、赤松看護師長と板谷精神保健福祉士の案内により回復期リハビリテーション病棟と認知症疾患医療センターを見学させていただきました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい東近江地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。)

## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(9月21日開催)

2019年8月9日

### 「彦根市の地域医療を守る会」第58回 勉強会

日時：令和元年9月21日(土)10:00~11:30

場所：彦根市立病院 医療情報センター

テーマ：救急搬送の現状と熱中症対策について

内容：彦根市では昨年の救急搬送が最大になったわけ。

救急車の適正利用についての理解を深めるために。

講師：彦根市消防本部 警防課 救急管理係 辻川正直氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください→

#### 「彦根市の地域医療を守る会」第58回勉強会

♡ごあいさつ

彦根市消防本部 警防課 救急管理係

♡救急搬送の現状と熱中症対策について

内容 彦根市では昨年の救急搬送が最大になったわけ。救急車の適正利用についての理解を深めるために。

講師 彦根市消防本部 警防課 救急管理係 辻川 正直氏

期 日 9月21日(土) 10:00~11:30

場 所 彦根市立病院 医療情報センター

参加費 100円 (北別入り口より入ってすぐ裏側の建物)

(講座等の受講費はかかりません。)

※車、自転車、お徒歩で参加ください。

4月の守る会「夏休みについて」は、世間や世帯から暑熱に関する話題のある方がたくさん参加しました。みなさんのためにお役に立ててよかったです。

現代のデジタルリテラシーやスマホの普及は、たまたま医療現場で使われてもみなさんには負担の少ないツールが広がっています。守る会では暑熱に関する話題のカタチへの学びでした。守る会の応答性の発生です。暑熱もいろいろな形で起こっています。

「あったか〜ト平気な」暑熱。暑熱時に守る会への働きかけの存在。みんな笑顔で参加出来る事をつくりのモニターポイントになりました。たくさん見に来てくれてありがとうございます。暑熱に関する話題のカタチへの学びです。

「タマシ」暑熱に関する話題のカタチへの学びです。また守る会の上級会をしたいと思います。暑熱に関する話題のカタチへの学びです。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村裕子

## 【開催案内】第2回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(10/8)

2019年8月7日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

詳細はこちら⇒[第2回 懇談会チラシ.pdf](#)

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日時：令和元年10月8日(火)18:00~(1時間程度)

会場：滋賀医科大学 基礎研究棟 多目的室1・2

講師：滋賀医科大学医学部附属病院 精神科 医局(専攻医)  
清水 芳樹 先生

略歴：2016年3月 滋賀医科大学医学部卒業  
2016年4月~2018年3月 滋賀医科大学医学部附属病院にて初期研修  
2018年4月 滋賀医科大学 精神医学講座入局 現在に至る

テーマ：『ルーツのある滋賀で精神科医を志す』

参加費：無料  
対象：医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。  
この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？  
本学以外の医学生の方も大歓迎です。  
皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上  
メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

滋賀県医師キャリアサポートセンターの詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

[問合わせ・申込先]

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口： 滋賀医科大学 クオリティマネジメント課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：[ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当：北川・奥村

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(令和元年8月19日～20日開催)

2019年7月22日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～東近江市(永源寺・日野町)方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●8月19日(月)1日目

滋賀医科大学(出発)<9:00>

↓

太郎坊・阿賀神社(太郎坊宮)参拝<9:50～10:40>

↓

近江日野商人ふるさと館・旧山中正吉邸(見学・昼食)<11:15～12:45>

↓

日野記念病院病院(説明・研修)<13:00～14:30>

↓

東近江総合医療センター(説明・研修)<15:00～16:30>

↓

クレフィール湖東(交流会・宿泊) <16:50頃到着>

17:30～18:50 交流会<第1部>講演/意見交換等

・東近江市長 小椋 正清 氏からのご挨拶

・「三方よし」から学ぶ人の繋がり(仮題)」

永源寺診療所 所長 花戸 貴司 氏

NPO法人加楽 理事長 楠神 涉 氏

19:00～21:00 交流会<第2部>学生報告会/懇談/会食

21:00～ 学生交流会

●8月20日(火)2日目

クレフィール湖東(出発)<8:30>

↓

百済寺拝観<8:40～9:40>

↓

あいとうふくしモール(説明・見学)<9:55～10:35>

↓

道の駅奥永源寺溪流の里・永源寺東部出張診療所(見学)<11:05～11:20>

↓

日登美山荘(昼食)<11:30～12:30>

↓

永源寺診療所(説明・見学)<13:00～14:30>

↓

近江温泉病院(説明・見学)〈14:50～16:20〉



滋賀医科大学(解散)〈17:15頃〉



瀬田駅(希望者ありの場合)

## 里親登録学生と里親学生支援室員の顔合わせ(懇談会)を行いました

2019年6月14日

6月10日(月)の昼休みに、里親登録学生13名(新登録学生7名を含む)と里親学生支援室員との懇談会を、CMC(クリエイティブモチベーションセンター)ホールで開催しました。

初めに室員や事務スタッフ、学生の自己紹介が行われ、その後、埜田室長から里親学生支援事業の概要や、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。また、夏期休暇中に実施する東近江市(永源寺・日野町)方面での宿泊研修について、訪問先の紹介があり、学生へ「研修にはより多くの学生が参加して欲しいので地域医療に興味を持っている友人など、学内外問わず誘って参加して欲しい」との呼びかけがありました。

学生からは、「夏の宿泊研修の時期を9月にしてもらえると参加しやすい」「就職先の先輩方の話をきいてみたい」「里親の先生との交流について、メールを送っても返事がこないの、再度連絡するタイミングが難しい」などの意見がありました。また、里親登録学生の先輩から後輩へのアドバイスもあり、交流が図れました。



## 【開催案内】第1回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(7/5)

2019年6月12日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日 時：令和元年7月5日(金) 18:00～(1時間程度)

会 場：滋賀医科大学医学部附属病院 検査部  
第2会議室 (外来棟 2階 リハビリテーション科 向い側)

講 師：滋賀医科大学医学部附属病院 検査部(病理診断科 医局長)  
助教 松原 亜季子 先生

略 歴：平成16年3月 滋賀医科大学医学部 卒業(医師国家試験合格)  
平成16年5月～平成18年4月 滋賀医科大学附属病院臨床研修医  
平成18年5月～平成21年3月 滋賀医科大学附属病院病理部 医員  
平成21年4月～平成24年3月 国立がんセンター(現・国立がん研究センター)中央病院 レジデント  
平成24年4月～平成26年3月 同院 がん専門修練医  
平成26年4月～平成29年6月 防衛医科大学校 病態病理学講座 助教

平成29年7月～ 現職

テーマ：『こういう医者もおりまして～病院の片隅で病理医をやっています』

参加費： 無料

対 象： 医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上

メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

滋賀県医師キャリアサポートセンターの詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口： 滋賀医科大学 クオリティマネジメント課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：[ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)

担当：北川・奥村

- 4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。
- 6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
- 6月10日(月) 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
- 8月19日(月) 夏期宿泊研修を実施する。  
～20(火) (滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 10月26日(土) 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同で  
～27日(日) 『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。  
里親、プチ里親と学生との交流の機会とする。
- 10月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 秋季 教職員向けのFD研修会を開催する。  
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
- 1月 「里親」「プチ里親」向けの  
FD研修会・意見交換会を開催する。  
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
- 3月 春期宿泊研修を実施する。

(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)

- 3月 次年度の計画をたてる。
- 通年 県内出身自治医大同窓会主催の家庭医体験学習に参加する。
- 通年 卒業後の自分を考える連続自主講座を実施する。  
(滋賀医療人育成協力機構と共催で実施)

## 2018年度 活動実績

2019年5月20日

- 平成30年 4月 1日 里親学生支援室(継続設置)における新年度業務を開始
- 平成30年 4月 5日 1年生に対し、新入生オリエンテーションで  
～5月下旬 広報誌等を配布して参加学生を募集
- 平成30年 5月15日 里親学生支援室会議開催
- 平成30年 5月30日 FD・SD研修会「アンプロフェッショナル学生に係る対応策に関する  
FD・SD研修会」を滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 90名
- 平成30年 5月30日 里親学生支援室だより No.20発行
- 平成30年 6月11日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施  
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の  
属性や希望事項等の調査
- 平成30年 6月24日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第11回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数20名
- 平成30年 6月25日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定
- 平成30年 7月 7日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第12回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催

参加者数38名

平成30年 8月20日～21日

宿泊研修「長浜市・湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を

滋賀医療人育成協力機構と協同で実施

参加者数 学生17名

教職員11名(内、機構職員3名)

平成30年 8月31日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第13回)を

滋賀医療人育成協力機構と協同で開催

参加者数 7名

平成30年 9月19日 里親学生支援室だより No.21発行

平成30年10月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う

平成30年10月 9日 里親学生支援室会議開催

平成30年10月27日～28日

若鮎祭(学園祭)開催時に「里親学生支援室ブース」を

滋賀医療人育成協力機構と合同で開設

平成30年11月 1日 里親バンク登録の「里親」と参加学生(医学科学士編入生)との

マッチング決定

平成31年 2月10日 里親学生支援事業10周年記念シンポジウム 滋賀医科大学主催

「滋賀県の担い手は充足しているのか？現状と課題を考える」を開催

参加者数 40名

平成31年 3月18日～19日

宿泊研修「高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を

滋賀医療人育成協力機構と協同で実施

参加者数 学生 9名

教職員14名(内、機構職員3名)



## 高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

2019年4月23日

3月18日(月)・19日(火)に、高島市方面を訪問させていただいた春の宿泊研修には、学生9名(滋賀医科大学医学科第2～4学年3名、看護学科第1～3学年6名)が参加しました。

### 【1日目】

#### ・白髭神社見学

高島方面へ向かう途中、白髭神社を訪問しました。琵琶湖に浮かぶ朱塗りの大鳥居が特徴で、世界遺産・厳島神社を彷彿とさせる光景から”近江の厳島”とも呼ばれています。創建は約1900年前で、近江最古の神社とされており、全国にある白髭神社の総本社ともされています。

皆さん、国道161号線はよく通行するものの、あまり白髭神社に立ち寄ったことはなかったようで、改めて、その歴史を学ぶとともに、沖島を背景に琵琶湖に浮かぶ大鳥居の景観を写真に納めていました。



#### ・特別養護老人ホーム清風荘にて研修

今回の宿泊研修の最初の研修先として、特別養護老人ホーム清風荘を訪問しました。清風荘では、

生活相談員の林様から施設の概要についてお話をいただきました。

清風荘は、社会福祉法人ゆたか会が開設した県下3番目の特別養護老人ホームとして、今津病院との協力体制のもと地域包括ケアネットワークの一端を担っています。

その後、二グループに分かれて、施設内の見学をさせていただきました。施設内は清潔できれいに整理されていて、利用者の方々が気持ちよく利用されているようでした。また、利用者自身の自宅で使用している家具が持込まれており、より自宅の環境に近い状態を実現するよう工夫されている他、利用者の方を移動しやすいように天井取り付けのリフトがあるなど、利用者だけでなく、スタッフにとっても優しい工夫が施されていました。

4階には、食事つきの高齢者マンション「ケアハウスじゅらく」が併設されており、利用者の生活状況に応じたサービスを提供しているとのことでした。



#### ・今津病院にて研修

サンブリッジホテルで昼食をいただいた後、午後からの最初の研修先として、今津病院を訪問しました。今津病院は、里親学生支援事業としては初めて訪問させていただく病院で、湖西地域では唯一の回復期リハビリテーション病棟を開設するなど、高島市、大津市、長浜市から各疾患の手術後・発症後の患者さんに早期にリハビリテーションを実施し、住み慣れた自宅での療養に繋げることを目標とされています。

あいにく、瀬本院長先生はご不在でしたが、岸本理事長からご挨拶をいただき、仁賀事務長、上松看護部長、前川リハビリテーション室長から、今津病院の概要についてお話をいただきました。

その後、仁賀事務長や上松看護部長の案内で施設の見学をさせていただき、会議室に戻った後に、本学出身の岩城 秀出先生から透析センターの概要や高島市での暮らしについて説明がありました。加えて、本学看護学科卒業生の看護師 吉永さんもお見えいただき、今津病院の看護業務についてお話いただきました。



#### ・マキノ病院にて研修

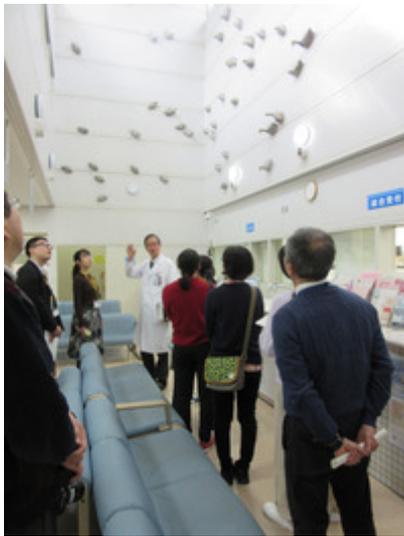
国道161号線を北上し、三つ目の研修先であるマキノ病院を訪問しました。

高島市の最北部に位置するマキノ町は、町名がカタカナで表記されることから、北海道のニセコ町と姉妹都市協定を結んでさかんに交流が行われています。

マキノ病院も里親学生支援事業としては初めて訪問させていただく病院で、湖西における最北の病院として、高島市北部の急性期救急医療を守るとともに、高島市民病院や今津病院との連携により、高島市の医療と地域包括ケアシステムに貢献されています。

研修に際し、森田病院長から病院の概要や特色についてお話をいただいた後、院内を詳しく見学させていただきました。最後に、4月から本学出身の西村彰一先生を新病院長に迎えることになったとの紹介があり、外科の専門医として地域医療に一層の貢献が期待されると喜んでおられました。





#### ・メタセコイア並木の見学

マキノ病院を辞して、平成6年、読売新聞社の「新・日本街路樹百景」に選定されたメタセコイア並木を見学しました。

まっすぐ伸びた県道小荒路牧野沢線の両側には、延長約2.4kmにわたりメタセコイアが約500本植えられ、その景観はとても雄大なものでした。季節的にはあいにくの時期でしたが、初めて訪れた学生もいてその並木の長さに感激していました。



#### ・交流会

夕方は、宿泊先の今津サンブリッジホテルにおいて交流会を開催しました。

交流会第1部では、高島市健康福祉部健康推進課 青谷 光恵 課長から挨拶があり、健康支援課の水浦 久美 主監と、地域包括支援課の古谷 靖子 主監から、「湖西地域の医療福祉の現状と課題」と題し、高島市民病院 岡田 裕子 看護師長から「ひとりひとりの多様な課題に対応した切れ目のない組織的な支援の必要性」と題してご講演いただきました。





交流会第2部では、訪問先の関係者の方々や地域の方、里親の方々もご参加いただきました。特に、自治医科大学出身で、現在高島市民病院で初期研修を行っておられ、これまで数多く里親学生支援事業に参加していただいた八坂先生も参加していただき、大いに盛り上がりました。

訪問先の先生方からは、「高島市は自然に恵まれた風光明媚な土地であり、気持ちのやさしい住民の方も多く、是非卒業後は湖西地域の医療活動に貢献していただきたい！」といった期待の声も寄せられ、和やかな意見交換、懇談の場となりました。

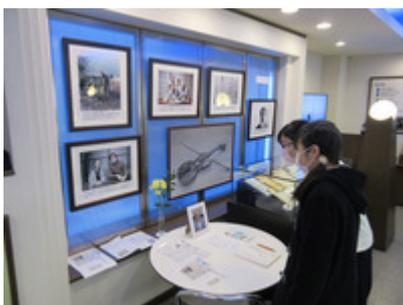
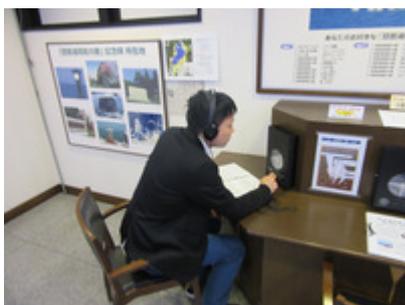


## 【2日目】

### ・琵琶湖周航の歌資料館を見学

宿泊研修2日目は、宿泊先の今津サンブリッジホテルを出発し、「われ～は湖の～子～♪」で知られる「琵琶湖周航の歌」の発祥の地である今津町の「琵琶湖周航の歌資料館」を見学しました。

琵琶湖周航の歌は、加藤登紀子さんが歌われて国民的に親しまれていますが、資料館の方の説明を受けて歌の由来について知ることができました。



#### ・藤樹書院跡の見学

続いてバスは安曇川町まで南下し、人々をひとしく愛した近江聖人 中江藤樹が庶民のために開いた日本最初の私塾「藤樹書院」を訪問し、江戸の儒学者 中江藤樹の生涯や教えについての説明を伺いました。



#### ・特別養護老人ホームふじの里にて研修

研修2日目の最初の研修先として、特別養護老人ホーム ふじの里を訪問しました。ふじの里は、平屋建ての広い敷地の中に、「ふじの里ショートステイ」、「ふじの里デイサービスセンター」、「ふじの里ケアプランセンター」、「ふじの里なごみの家」と利用者のニーズに合わせた施設が併設されており、それぞれ清潔できれいに保たれた施設の中で、利用者の皆さんはいきいきと生活されておられます。

訪問に際して、落川施設長から地域の現状や施設の概要についてのお話があり、引き続き施設内を見学させていただきました。見学後は、施設長から改めて入所者の状況や施設の特徴、工夫を凝らした介護活動、利用者が楽しく交流する様々なイベントの実施についてお話がありました。

また、看護師・介護士・生活相談員など現場で働く職員から、それぞれのお立場でのお話を聞くことができました。

皆さんの努力による質の高いサービスの提供は、平成30年度の介護サービス満足度調査でも高い評価を受けておられました。





#### ・高島市民病院朽木診療所にて研修

道の駅藤樹の里あどがわで昼食をとった後、本日二つ目の研修場所である「朽木診療所」に向かいました。安曇川町から一つ山を越え安曇川沿いにバスを進めると、辺りが急に開けて旧朽木村に入り、その中心地に朽木診療所がありました。診療所は高島市内産のスギ・ヒノキをふんだんに利用した木の温もりを感じられる木造平屋建てで、その中で、自治医科大学出身の増田 翔吾 先生が待っててくださいました。

朽木診療所は高島市民病院朽木診療所に改組され、増田先生から、外来診療、訪問診療、往診などの診療所での診療の状況や、地域の特徴について熱心に説明していただきました。

その後、施設内と診療所周辺を散策し、朽木地域の自然に触れるとともに、珍しい建築物などを見学しました。



#### ・高島市民病院にて研修

今回の宿泊研修の最後の研修先として、湖西地域の中核病院である高島市民病院を訪問しました。

最初に小泉副院長から歓迎のご挨拶をいただき、続いて本学出身の上野 哲 内科部長から、湖西地域における高島市民病院の概要と役割についてお話をいただきました。さらに、病院事業管理者の高山 博史 先生から、これからの医療に求められることや若い医師への期待について、熱くお話しいただきました。

その後、上野先生、小谷看護部長、本学出身の松岡先生のご案内で、機能的できれいに整理された外来や検査室、そして清潔な病棟などを見学させていただきました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい湖西地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。)

## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(4月20日開催)

2019年4月 1日

### 「彦根市の地域医療を守る会」 第56回 勉強会

日 時： 平成31年4月20日(土)10:00~11:30

場 所： 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ： 発達障がいのことを正しく知りたい！ 子供も大人にもある発達障がい

内 容： テレビや新聞でもよく取り上げられている発達障がい。

学びから概要や考え方や接し方について。

講 師： 彦根市立発達支援センター臨床発達心理士 小野陵太氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第56回勉強会

♡発達障がいのことを正しく知りたい!  
子供も大人にもある発達障がい

内容 テレビや新聞でもよく取り上げられている発達障がい。学びから概要や考え方や接し方について。

講師 彦根市立発達支援センター臨床発達心理士 小野陵太氏

日 時 4月 20日(土) 10:00~11:30

場 所 彦根市立病院 医療情報センター  
(彦根市立病院の敷地内です。事前に彦根市立病院の受付までお電話の依頼)

参加費 1,000円  
(お茶、お水、お菓子をご用意いたします。)

申込 申込は彦根市立病院 医療情報センターの受付までお電話の依頼。お電話の受付時間(平日9:00~17:00)にお願いいたします。

※本会では、発達障がい(アスペルger syndrome)がテーマです。発達障がいの種類は多岐にわたります。発達障がいの中でも、アスペルger syndromeは、知的能力が平均以下(知的障害)ではないものの、コミュニケーション能力や社会生活に支障をきたす場合があります。

※本会では、発達障がい(アスペルger syndrome)がテーマです。発達障がいの種類は多岐にわたります。発達障がいの中でも、アスペルger syndromeは、知的能力が平均以下(知的障害)ではないものの、コミュニケーション能力や社会生活に支障をきたす場合があります。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子